

平成20年度 第4回 府中市男女共同参画推進懇談会 議 事 録

1 日 時 平成20年11月17日（月）午後7時～9時

2 場 所 女性センター 第1会議室

3 出 席

(1) 委 員

小西（厚）委員長、諸橋副委員長、北川委員、五座委員、後藤委員、小西（さ）委員、島野委員、日高委員、平井委員、村野委員、矢島委員、吉田委員

(2) 事務局

川田市民活動支援課男女共同参画推進担当主幹、松井男女共同参画推進係長、大沢事務職員

4 欠 席

なし

5 傍聴者

なし

6 会議内容

(1) 開会

(2) 前回の議事録の確認

前回協議した「032 子育て支援の充実」の項目の中で、一時保育の現在の費用について質問があった。この回答として、事務局から資料2を提出した。

(3) 報告事項

平成20年11月29日（土）及び30日（日）に、第22回府中市男女共同参画推進フォーラムを実施するので、お時間のある方はぜひ参加していただきたい。

(4) 協議事項

ア 府中市男女共同参画計画推進状況評価報告書の評価方法について

前回会議からの継続事項である、府中市男女共同参画計画推進状況評価報告書について協議を行った。各委員の意見は次のとおりである。

「068 母子の健康増進」

- ・ リプロダクティブ・ヘルス／ライツという言葉が浸透してきたという記載があるが、どのように浸透したかわかるように明記してあると良い。
- ・ リプロダクティブ・ヘルス／ライツという言葉「女性と健康」等のようにわかりやすいものにしたらどうか。

事務局回答

第4次府中市男女共同参画計画等には注として、リプロダクティブ・ヘルス

／ライツの用語説明を掲載している。注がなければ、一般の市民はこの用語の意味を理解することが難しい面もあるかもしれない。

- ・ 参加者が少ないので評価を2としているが、なぜ参加者が少なかったのかという点が気になる。
- ・ リプロダクティブ・ヘルス／ライツという言葉は、北京会議が開催された頃から多く使用されるようになった。意識調査等を行った場合認知度が低い言葉である。
- ・ リプロダクティブ・ヘルス／ライツに関する事業があまり展開されていない。もう少し積極的に行う必要があるのではないか。事業として継続的に行わなくてはならない分野である。

069 健康検査事業の充実

- ・ 乳がん検診について、検診者数が増えている。事業として上手くいっていると判断して良いのではないのか。

070 学校教育等におけるエイズ、薬物、飲酒・喫煙等の予防・啓発

- ・ 学務保健課の計画において、養護教諭を対象とした事業が掲載されているが、養護教諭と限定せずにPTA等も対象としてほしい。
- ・ 薬物等を勧誘された際に断るための交渉術を学ぶ教育が必要であると考えます。
- ・ 指導室の事業であるセーフティ教室というのは、どのようなものか知りたい。

077 学校教育の中での知識の提供・啓発

- ・ 「実施している」との記載では内容が不明である。どんなことを教えているのか知りたい。
- ・ 年間のプログラムを立てて教えることが必要である。また、実施回数を知りたい。

083 女性自身に関する相談の充実

- ・ 解決につながった等、相談の結果・内訳を知りたい。
- ・ 母子自立支援プログラムとはどのような事業か知りたい。
- ・ 相談窓口を持つ各課の連携が必要である。

085 子どもに関する相談の充実

- ・ ポップコーン事業を知らなかった。父親に対しての広報拡充が必要だと思う。

事務局回答

「子育て支援センター たっち」等で総合的に行っている事業。父親を対象とした「ポップコーンパパ」も実施している。

- ・ 相談窓口を持つ各課の連携が必要である。

088 男女平等教育の推進

- ・ 時間・内容等、事業の具体的な中身を知りたい。

093 学習・啓発講座の実施

- ・ 女性の大工講座、男性の料理講座について、参加人数が減っているが、良い企画だと思う。

事務局回答

定員・講座回数の設定の都合により、延べ参加者数が減っている。

095 雇用主・労働者双方への働きかけ

- ・ 自治会等に働きかけをしなくてはならない。雇用主に対しても、ポスター・チラシを配布するだけでなく、定期的に懇談会を実施する等が必要である。
- ・ ワーク・ライフ・バランスについて、国・都・市区町村も力を入れている。市も率先して行うべきである。

事務局回答

府中市においては、市民向け・職員向けにワーク・ライフ・バランスに関する講演会（研修）を行う等、啓発活動に努めている。

- ・ 商工会議所・青年商工会議所・歯科医師会等に女性の構成員はいるのか。

北川委員

商工会議所について、市内の中小企業のオーナーが構成員であり、女性幹部はほとんどいないのが現状である。

村野委員

青年商工会議所について、構成員100人中、3名が女性である。事業を進める上で女性の意見も聞きたいのだが、事業所のオーナーがメインなので女性会員が集まらない状況がある。

矢島委員

歯科医師会は持ち回りで幹部を行っているが女性は少ない。100名中数名程度である。近年、女性医師数は増えている。また、全国的に女性医師が組織する私的な機関がある。

- ・ ワーク・ライフ・バランスについて、一步踏み込んで施策を行う必要がある。例えば、市の発注先では厳しい残業状況の事業所もある。ワーク・ライフ・バランスが推進していない事業所に対しては、市が発注しない等の取組が必要なのではないか。残業は良いことではないということを示してほしい。
- ・ 行政からの発注については、仕様書等に法令で定められた労働時間や賃金を守ることということを記載し、違反した場合は入札参加を禁止するという措置をとっているところもある。府中市においてもこれを採用してはどうか。

099 広報紙・啓発冊子等での啓発の充実

- ・ 定期的に市報に男女平等に関するコラム等を掲載してほしい。

018 地域リーダーの育成

- ・ 受講生がどのような人なのか知りたい。
- ・ 今後の課題として、青少対・PTAに参加の呼びかけを行うとされているが、限定せず、広く市民全体に呼びかけを行う必要がある。

019 男女双方の視点を取り入れた防災対策の推進

- ・ 平成21年度の事業に「新たな取組を必要とする防災分野における男女共同参画の推進について 報告書」を反映してほしい。
- ・ 府中市は防災面に関して進んでいないように感じる。
- ・ 備蓄倉庫は増えているようだが、活用方法は自治会まかせになっているのではないか。

その他

- ・ 男女共同参画計画を策定する際に「安全・防災対策の推進」に関する項目を増やす必要がある。

前回の会議において、推進状況評価報告書を作成するにあたり小委員会を設置することが決定していたが、協議の結果小委員会を設置せず、すべての委員で重点項目を4～5項目ずつ担当することとした。各委員の分担は別表のとおりとし、別表の通し番号以下の内容は、第3回会議で使用した資料2に基づくものとする。

府中市男女共同参画計画推進状況評価報告書の第三者評価機関が記入する項目である「改善策等の提言」について、議事録の内容を基に事務局が案を作成することとした。

協議事項 (2) 府中市女性センターの事業計画及び運営のあり方について
ア 府中市男女共同参画市民企画講座については、次回の会議において正副会長が作成した報告書案を協議することとした。

ウ 次回の会議日程について

日時：平成21年1月29日（木）午後7時から

場所：女性センター 第1会議室

(8) 閉会

別表

	項目番号	項目	担当委員	
1	001	審議会等委員の男女構成比をそれぞれ30%以上に促進(全庁・政策課)	矢島委員 吉田委員	
2	002	すべての審議会等へ女性委員を登用するように促進(全庁・政策課)		
3	004	市民の自主的学習活動の援助(市民活動支援課)		
4	010	コミュニティ活動等への参加促進(市民活動支援課)		
5	021	女性職員の参画意識の向上(全庁・職員課・市民活動支援課)	北川委員 後藤委員 五座委員	
6	023	女性の就職支援講座の実施(市民活動支援課)		
7	029	長時間労働是正の啓発(住宅勤労課)		
8	032	一時保育の拡充(子育て支援課)		
9	039	学童クラブの充実(児童青少年課)		
10	036	低年齢児保育の充実(保育課)	諸橋副会長 島野委員 村野委員	
11	046	介護保険制度と福祉サービスの充実(高齢者支援課)		
12	058	暴力を防ぐための意識啓発(市民活動支援課)		
13	068	母子の健康増進(市民活動支援課・健康推進課)	小西会長 日高委員	
14	069	健康診査事業の充実(健康推進課)		
15	070	学校教育におけるエイズ、薬物、飲酒、喫煙等の予防・啓発(健康推進課・学務保健課・指導室)		
16	077	学校教育の中での知識の提供・啓発(指導室)		
17	083	女性自身に関する相談の充実(広報課・市民活動支援課・子育て支援課)		
18	085	子どもに関する相談の充実(健康推進課・子育て支援課・保育課・児童青少年課・指導室)	小西(さ)委員 平井委員	
19	088	男女平等教育の推進(指導室)		
20	093	地域学習啓発講座の実施(市民活動支援課)		
21	095	雇用主・労働者双方への働きかけ(住宅勤労課)		
22	099	広報紙・啓発冊子等での啓発の充実(広報課・市民活動支援課)		
23	018	地域安全リーダーの育成(地域安全対策課)		小西会長 諸橋副会長
24	019	男女双方の視点を取り入れた防災対策の推進(防災課)		